

日野町 GIGA スクール構想に基づく「1人1台端末」利活用計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築のため個別最適な学びと協働的な学びの実現」が示されています。また、教育現場においてもDX(デジタルトランスフォーメーション)化や Society5.0 で描かれる未来像といったさらなる変革が語られ、今後教育における情報化は、ますます複雑で多様化、高度化することが予想されます。そこで国の学校教育情報化推進計画を基に、県は「主体的に学ぶ力を高める学校教育の推進」を学校教育分野における目標に掲げ、

○1人1台端末を活用したICT活用教育の推進

○児童生徒の情報活用能力の育成と教師の指導力向上

○教育の質を高める教育データの分析・利活用

を教育DXの目標としました。

本町においては、日野町教育振興基本計画(令和4年～7年)を作成し、「まなぶ意欲を高め学力を伸ばすとともに社会の進展に対応できる教育の推進」の中で、ICTの活用等により、多様な学びの場を提供することを目指しています。

2. GIGA 第1期の総括

① ICT機器整備事業について

本町では「子どもが主体的に学習するために(の学校ICT機器整備事業)で」電子黒板をすべての通常学級への導入が完了し、令和2年度に全児童生徒に1人1台タブレット端末の整備をおこない、日野学園設立と合わせて普通教室の無線LAN環境設備を整備しました。高速通信ネットワークの新規導入による強化を行った結果、全学級同時でのオンライン授業に耐えうる通信環境が整いました。GIGA スクール構想による1人1台端末の整備に伴い、同事業において導入したタブレット端末を教師用端末として再配置し、主体的・対話的で深い学びの授業実現にむけて、タブレット端末を活用した授業改善を進めることができました。児童生徒に向けては、「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」を令和5年度から開始し、学校で指定された学習者用デジタル教科書の運用がはじまっています。

② 授業改善のための研修会の実施

授業改善に向けては、本町ICT支援員を委嘱し、毎月ICT機器活用について教職員との相談を実施し、ICTを活用した授業の事例紹介や最新情報の共有を行うことで情報教育について推進することができました。また、ICT支援員と協働し、心の健康観察の集計や他校との交流学习の実施など、ICT機器を活用した授業実践を行うこともできました。

③ 児童生徒の情報活用能力の育成

1人1台端末の活用が進み、「分からないことなどを調べる」「写真を撮る」ことや授業と連動した「宿題や課題を提出する」といったことが増加しました。しかし、考えをまとめる、共有する、発表するといった発達段階に応じた活用について学年ごとの活用度の増加がみられる学年と、活用が進んでいない学年も見られました。今後、活用の仕方を研修

したり、活用効果の周知を図ったりする必要があると考えます。

3. 1人1台端末の利活用に係る計画

近年、情報化社会の進展は著しく、教育現場においても ICT 活用が不可欠となっています。本町では、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、未来を切り開く力を育むために、1人1台端末の積極的な活用、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指した校務 DX を推進します。

また、児童生徒向け1人1台端末環境を引き続き整備し、これを通じてより効果的な学習と成長を支援します。具体的には、以下の取り組みを実施します。

○1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末を活用し、児童生徒一人ひとりの個性と協働性を育み、主体的な学び、情報活用能力の向上、時間と場所にとらわれない学習、学習意欲の向上を目指します。これらの学びを通して、未来社会を生き抜くための力を身につけ、社会に貢献できる人材の育成を目指します。

① 個性を活かした主体的な学び

- ・豊富な学習コンテンツやアプリで、自分のペースで理解を深め、興味関心に基づいた学習を進めます。
- ・AIによる学習支援や適応型教材により、一人ひとりの課題を明確化し、主体的な問題解決を促します。

② 協働的な学び

- ・オンラインツールで資料共有や意見交換を活発に行い、チームワークを強化しながら課題解決に取り組みます。
- ・オンライン講演会や交流授業を通して、専門家の知見や大学生の経験、同級生の考えを取り入れます。

③ 情報活用能力の向上

- ・情報収集、分析、編集、発信など、情報活用能力を体系的に学び、情報化社会に必要な不可欠なスキルを身につけます。
- ・動画編集、音声編集、プレゼンテーションツールなど、多様な表現方法を活用し、自分の考えやアイデアを効果的に伝えます。

④ 時間と場所にとらわれない学習

- ・オンライン学習や学習アプリで、自宅や外出先など、いつでもどこでも学習できる環境を整えます。
- ・個々のペースで学習を進められるので、時間制限に縛られることなく、自分のペースで学習できる環境を整えたり、個別ニーズに合わせた学習支援を受けられる環境を整えたりします。

⑤ 学習意欲の向上

- ・学習履歴やポートフォリオを活用し、学習状況を客観的に把握し、改善点を見つけます。